

# うごぎいます

受章者および各種表彰者を紹介いたします。

## 春の叙勲

### 旭日双光章（食品衛生功労）

吉澤 紀一さん

（鷹島・阿翁浦、76）



昭和49年12月に鷹島町で飲食店兼雑貨店を開店され、翌50年に長崎県食品衛生協会の食品衛生指導員の委嘱を受けて以来、主に県北地域の食品衛生思想の普及向上に尽力するなど、衛生行政の推進へ多大な貢献をされました。

平成21年からは長崎県食品衛生協会県北支部の支部長として、更に、平成24・25年には公益社団法人長崎県食品衛生協会の副会長として、保健所と連携を取りながら食品事業者並びに業界による自主衛生管理体制の確立を目指して活動するなど、地域のみならず県内の食品衛生事業の推進に大きく寄与されました。

## 危険業務従事者叙勲

### 瑞宝単光章（消防功労）

久保田 実夫さん

（佐世保市、67）



昭和47年11月25日に松浦地区消防組合消防吏員として採用されて以来、38年の長きにわたり職務に精励されました。

平成9年に消防司令補、平成20年から消防司令を務められ、地域消防の発展に寄与されました。謹厳実直な性格と職務に取り組む姿勢から責任感が強く、広い見識と指導力が高く評価され、他の職員の模範的存在となりました。

平成20年に発生した建物火災では、隊長として現場を指揮し、適切な状況判断と的確な現場指揮により、被害を最小限に食い止めるなど、地域の安全に大きく貢献されました。

### 瑞宝単光章（防衛功労）

山田 博正さん

（志佐・西山、67）



昭和44年2月に海上自衛隊に入隊し、平成17年2月に准海尉として定年退職するまで36年の長きにわたり、よく上司の意図を体し、常に旺盛な責任感と積極的な職務遂行で自衛隊の能力発展に尽力されました。

大村航空基地隊本部総務班において、同隊で使用する物品の調達計画、調達要求手続き、出納保管、整備等の業務を迅速かつ的確に実施されました。また、各部の所掌事務の連絡調整、庁舎・営舎その他の施設の整備、構内の保安警戒、式典、行事など多岐にわたる業務についても積極的に取り組まれ、部隊の円滑な任務遂行に大きく貢献されました。

## 農林水産大臣賞受賞

松浦市農業委員会（山川重晴会長）が、平成29年度農業委員会表彰において、農林水産大臣表彰を受賞し、4月11日、市長に報告を行いました。

この賞は、農地等の利用の最適化の推進に関し、顕著な実績を上げた農業委員会に贈られるものです。

地図システムを活用した人と農地のマッチングによる農地の利用集積や遊休農地解消、移動農業委員会の開催やきめ細やかで切れ目のない相談体制構築による新規就農等対策、J R九州ファーム株式会社の新規参入対策などの活動が高く評価され、今回の受賞となりました。



## 平成 30 年度子供の読書活動優秀団体 文部科学大臣表彰

「まつうら図書館きらきら塾」(森三佐子<sup>みさこ</sup>会長)が、平成 30 年度子供の読書活動優秀団体として、4月23日の「子ども読書の日」に文部科学大臣表彰を受けました。

この賞は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館、団体(個人)に贈られるものです。

まつうら図書館きらきら塾は、平成23年の発足以来、図書館、本、読書と市民を結びつける市民参加型のイベントの定期的開催や、読みきかせグループの中核としておはなし会を計画したり、図書館イベントの支援、研修会への参加など、幅広い読書支援活動を行っています。

会長と会員らが受賞報告のため、5月14日に市役所を訪れ、日頃の活動や子どもと読書の関わりについて、市長と意見を交わしました。

森会長は「『いつもそばに一冊の本を』をモットーに活動しており、子どもだけでなく大人も読書に親しむようになって欲しいと思っています。今後は、大人向けの読みきかせなど、更に活動の幅を広げていきたいです」と抱負を述べました。



## 平成 29 年度全国たばこ耕作組合中央会長表彰

友廣郁洋<sup>ともひろ いくひろ</sup>前市長(志佐・長野)が、「平成 29 年度全国たばこ耕作組合中央会長表彰」を受賞され、4月25日、大村市にある西九州たばこ耕作組合において伝達式が執り行われました。友廣前市長は、5月18日に市役所を訪れ、市長に受賞を報告しました。

今回の受賞は、長年にわたる、全国たばこ耕作組合への協力者としての功績がたたえられたものです。

友廣前市長は、平成 18 年 2 月に合併により誕生した新松浦市の初代市長に就任され、3 期 12 年にわたり、市勢の発展に尽力されました。松浦市役所職員在籍時代から、葉たばこの販売並びに会合等に出席するなど自己研鑽に努められ、市長就任後は、葉たばこ生産振興に力を注がれました。長崎県葉たばこ振興協議会においては、発足当初より産地発展を提唱され、補助金交付により生産基盤を確立するなど、葉たばこ生産の振興並びにたばこ作農家の経営安定に貢献されました。

特に、日本たばこ産業株式会社が平成 23 年に実施した葉たばこの廃作募集の際には、廃作農地への他作物転換緊急支援を英断されるなど、常に農家の身になって取り組みを進めてこられました。

### 九州たばこ耕作組合通常



▶写真上段：大村市での伝達式の様子  
写真下段：市役所での報告の様子